

平成 30 年度入学者選抜学力検査問題

9 時 00 分 —— 11 時 00 分 地域デザイン科学部志願者  
(建築都市デザイン学科)

造 形 実 技 (本文 4 ページ)

- [注意]
1. 検査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
  2. 解答用紙は 2 枚ある。「受験番号」は、各々の解答用紙の受験番号欄に忘れずに記入すること。
  3. この冊子には問題が 2 つある。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつた場合は、申し出ること。
  4. 解答は、必ず解答用紙の所定の枠内に記入すること。所定の枠外に記入したものは、無効である。  
第 1 問は解答用紙(その 1)に、第 2 問は解答用紙(その 2)に解答すること。
  5. 黒鉛筆及び消しゴムは貸与のものを使用すること。
  6. 貸与された黒鉛筆及び消しゴムは持ち帰らないこと。

## 第1問

図1に示す展開図を有する立体が3体ある。3体の立体のうち2体について、面 ABCD を下面として、図2の **イ** 及び **ロ** に設置する。また、3体の立体のうち1体について、面 EFGHI を下面として、図2の **ハ** に設置する。

なお、図2の **イ**、**ロ**、**ハ** の各位置に3体の立体を各々設置する際には、図2に記したアルファベットと図1に記したアルファベットが一致するように立体を設置することとする。

3つの立体が見える様子を、下記の条件に従って解答用紙の枠内に大きく描きなさい。

### 条 件

- ① 図2の **ニ** の地点の高さ 20 m の位置から見た立体の全体像を描くこと。
- ② 南西にある太陽からの日射が3体の立体に当たっているものとして、陰影を付けて描くこと。
- ③ 定規、コンパスの類は用いず、黒鉛筆で描くこと。
- ④ 手元にある紙を、切ったり折ったりして立体を作らないこと。

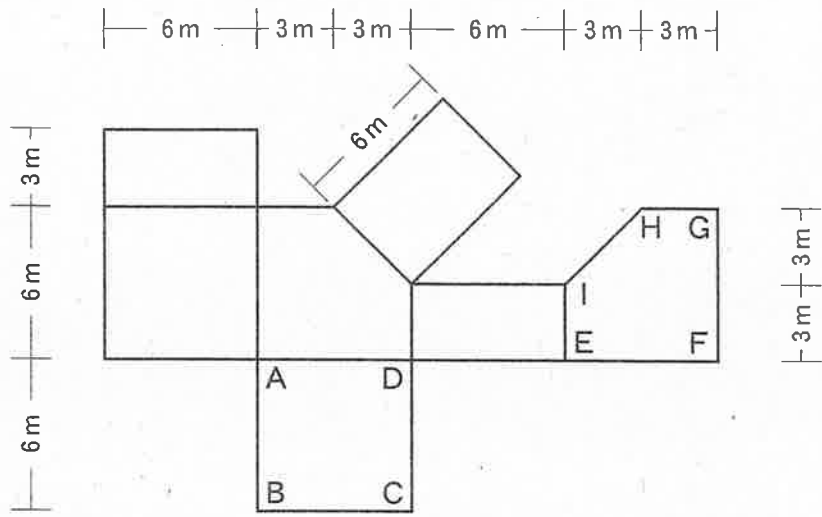


図1 立体の展開図

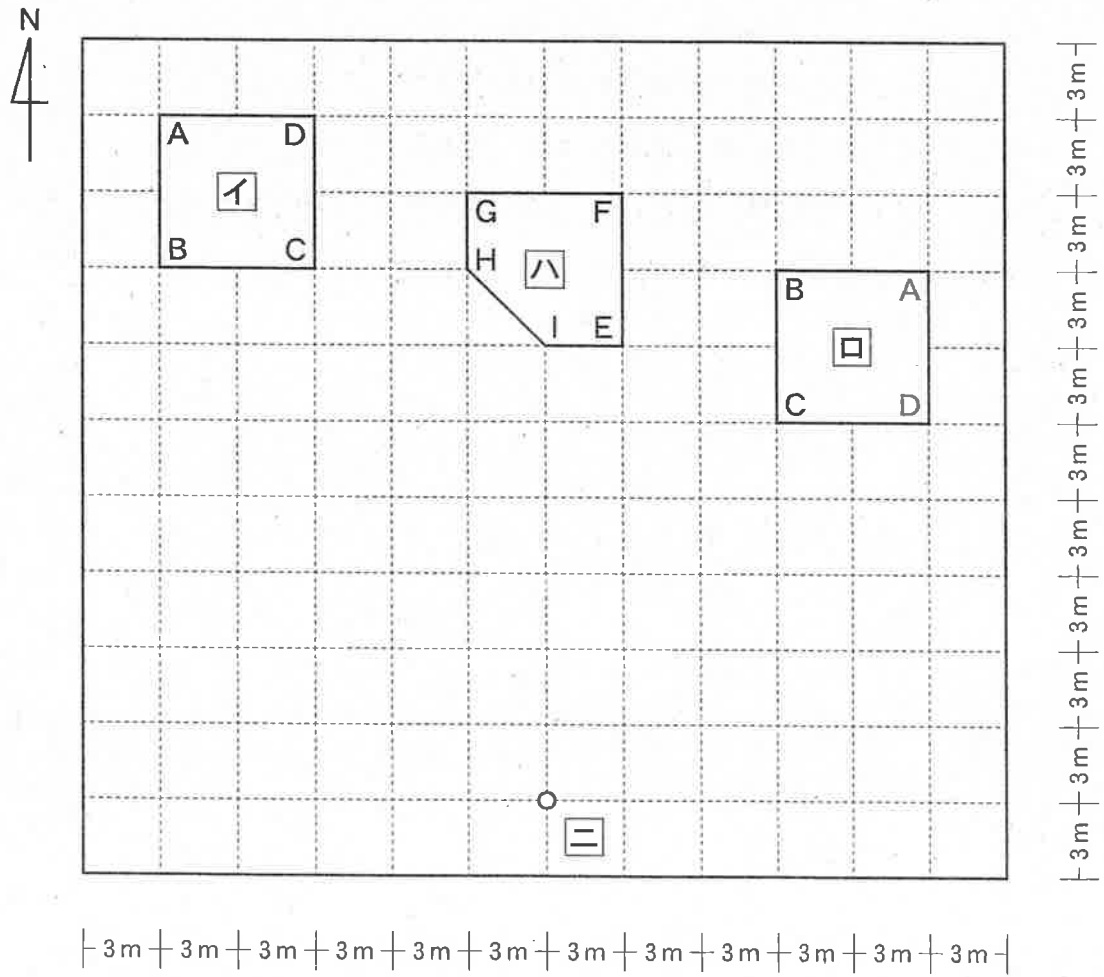


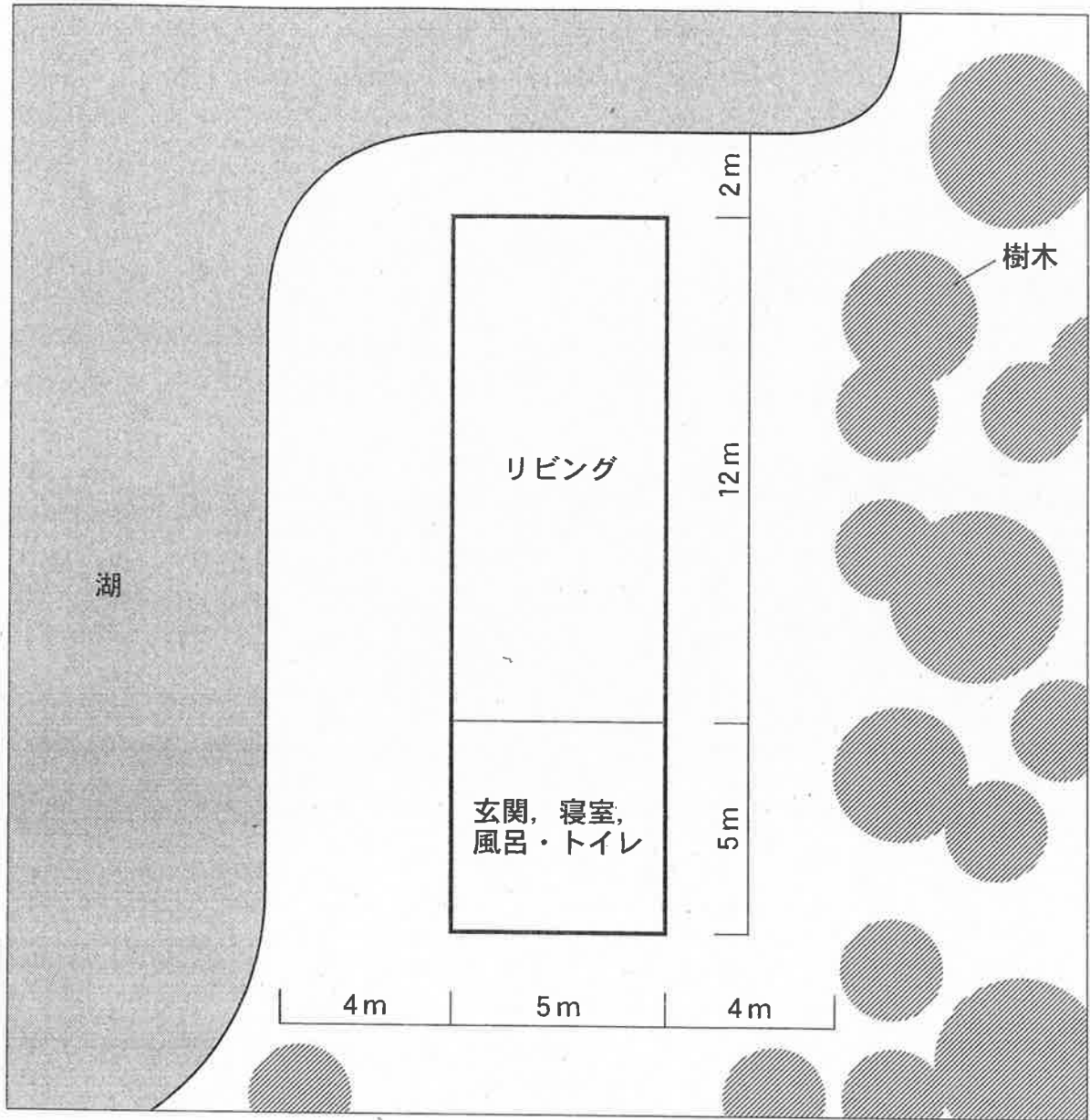
図2 立体の配置と立体を見る視点の位置

## 第2問

湖畔の林のなかに次の図で示された別荘を計画している。この計画に基づいて、屋外の自然環境を享受しながら過ごすことのできるリビングを構想し、下記の条件に従って、その室内空間を解答用紙の枠内いっぱいを描きなさい。さらに、リビングを構想する際に工夫したことについて、マス目内に述べなさい。

### 条 件

- ① リビングの床に立つ人からみた室内空間を1枚の図で描くこと。さらに、窓から見える屋外の様子も描き加えること。
- ② リビングの広さは、 $5\text{ m} \times 12\text{ m}$ であるが、必要に応じて外側にテラスや軒を設けても構わない。また、天井の高さとかたちは自由とする。
- ③ 壁や窓などの建物の細部や素材を自由に考えて表現すること。
- ④ 快適に過ごすために必要な家具なども構想して描くこと。
- ⑤ リビングや屋外で過ごしている人をひとり以上描くこと。
- ⑥ 定規、コンパスの類は使用せず、黒鉛筆で描くこと。



別荘周辺と別荘の部屋を上から見た図